

産業別四半期見通し調査結果 (2021年10～12月期見通し)

■長野県産業天気図

◇2021年7～9月期の現況

- 全12業種中、「晴れ(好調)」が2業種、「薄日(順調)」が2業種、「曇り(普通)」が1業種、「小雨(低調)」が5業種、「雨(不調)」が2業種となった。

◇2021年10～12月期の見通し

- 見通しは、「晴れ(好調)」が2業種、「薄日(順調)」が2業種、「曇り(普通)」が1業種、「小雨(低調)」が7業種となった。方向感では、「やや上昇」が2業種、「横ばい」が8業種、「やや下降」が2業種となっている。

天気図記号	2021年 4～6月期現況	2021年 7～9月期現況	2021年 10～12月期見通し
 晴れ(好調)	1 業種	2 業種	2 業種
 薄日(順調)	2 業種	2 業種	2 業種
 曇り(普通)	5 業種	1 業種	1 業種
 小雨(低調)	3 業種	5 業種	7 業種
 雨(不調)	1 業種	2 業種	0 業種

■10～12月期見通しのポイント


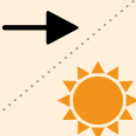
- 製造業では、飲料製造が「雨(不調)」から「小雨(低調)」になる見通し。非製造業では、観光が「雨(不調)」から「小雨(低調)」になる見通し。


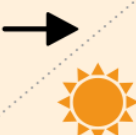



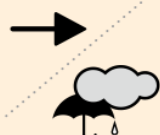
<産業別天気図一覧(12業種)>



- 調査内容: 業界の「現況」、「見通し」は、県内の企業経営者が業界の景気をどうみているかについてアンケート調査とヒアリング調査をした結果を基に、当研究所が判断した。
- 調査期間: 2021年9月中旬～10月中旬
- 調査回答企業: 県内主要企業12業種の118社



業種	前期 (4～6月期)	今期 (7～9月期)	来期 (10～12月期)
生産用機械			
電子部品・デバイス			
自動車部品			
飲料製造			
食料品製造			
機械器具卸			
大型小売			
自動車販売			
公共工事			
民間工事			
貨物			
観光			



生産用機械	IT・自動車関連を中心に受注は好調
<p>● 現況</p> 	<p>工作機械や半導体製造装置などの生産用機械の受注は、国内向けは自動車関連の設備投資が回復したことから堅調となり、海外向けはIT・自動車関連で好調だった。今後も国内外ともに受注は好調な見通し。ただ、ボールネジやリニアガイド等生産用機械の基幹部品のほか、半導体、コネクタ等の部品不足が続き、機械の納期は長期化する見込み。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 工作機械の受注は、国内では、主力の自動車関連を中心に順調な見通し。海外は、北米、欧州、東アジア向けで自動車・IT関連が引き続き好調な見込み。 • 半導体製造装置の受注は、スマートフォンやPC向け、車載向けなど多くの用途で見られる旺盛な半導体需要に伴う設備投資から、好調な見通し。



電子部品・デバイス	部品受注は幅広い分野で好調な見通し
<p>● 現況</p> 	<p>部品受注は、スマートフォン向けが5G対応製品を中心に堅調だったほか、PCやタブレット、ゲーム機向けも順調だった。車載向けは、自動車の電装化が進む中で、半導体関連部品をはじめ、電子部品全般の受注が好調だった。今後も、車載向けや家電、生産用機械向けなどでの旺盛な半導体需要を背景に、幅広い分野で部品受注は好調が続く見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • スマートフォン向けは、5G対応製品の需要が堅調で部品受注も底堅い見込み。 • 車載向けは、海外を中心とする電気自動車(EV)の需要増加に伴い、半導体関連部品をはじめとした部品の受注は堅調な見通し。 • 各種製造装置向けの電子制御部品は、高まる設備投資需要を受けて好調の見込み。



自動車部品	半導体などの部品不足に伴い受注は低調
<p>● 現況</p> 	<p>半導体不足に加え、東南アジアでのロックダウン(都市封鎖)によりワイヤーハーネスなどの部品調達が遅れたことで完成車の生産が滞り、受注は低調だった。半導体などの部品不足から完成車メーカーは減産を決定しており、今後も受注は低調な見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 国内は、部品不足に伴う完成車メーカーの減産により、受注は低調な見通し。 • 北米向けも、部品調達難が続き、受注は低水準を見込む。中国向けは、半導体などの部品不足の影響に加え、現地の電力不足に伴う工場の稼働制限による部品調達難もあり、低調な受注が続くとみられる。東南アジア向けは、新型コロナの感染再拡大により新車需要が落ち込んでおり、受注も低調となる見通し。


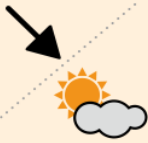
飲料製造	人の移動が徐々に増加し、需要は緩やかに持ち直す見通し
<p>● 現況</p> 	<p>家庭用の需要は堅調だったが、宿泊施設や飲食店向けの業務用の需要は、長雨や新型コロナの感染拡大の影響から不調となった。首都圏などでの緊急事態宣言解除により、今後はビジネスや旅行等の人の移動が徐々に増え、需要は持ち直すとみられるが、宴会などの自粛は続くと考えられ、アルコール飲料の需要は低調な見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 果汁飲料やその他の清涼飲料水は、緊急事態宣言解除により県内や近隣県への移動が徐々に増加するとみられ、需要はやや持ち直す見込み。 • アルコール飲料は、首都圏などの飲食店でアルコール提供が制限された前期に比べ需要はやや持ち直すものの、年末の最需要期を迎えても大幅な増加は望めない見込み。


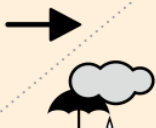
食料品製造	業務用の需要は緩やかに持ち直すものの、総じては低調の見込み
<p>● 現況</p> 	<p>新型コロナの感染拡大に伴う首都圏などでの緊急事態宣言の影響により、家庭用は調味料やスープ類、加工肉等、肉食需要は堅調だったが、宿泊施設や飲食店向けの業務用需要が落ち込み、全体では低調だった。今後は、緊急事態宣言解除により宿泊・飲食向けの需要は徐々に持ち直すとみられるが、新型コロナへの警戒感は続くため、総じて低調が続く見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 味噌・加工肉は、家庭用の需要は健康志向の商品を中心に堅調な見込みだが、業務用の需要は時間をかけて緩やかに持ち直すとみられ、低調な見通し。 ● コンビニ向け惣菜は、首都圏などでの緊急事態宣言解除により移動の自粛が緩和され、持ち直す見込み。


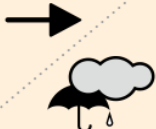
機械器具卸	機械需要は順調だが、一部機械の納期は長期化が見込まれる
<p>● 現況</p> 	<p>機械需要は、自動車関連の設備投資の回復や半導体関連が引き続き順調だったことに加え、政府の投資促進策もあり、全体では順調だった。しかし、部品不足に伴う製品供給の遅れから、一部機械の納期は長期化した。省力化ニーズなどから幅広い業種で機械需要は順調な見通しだが、供給不足による一部機械の納期の長期化は解消されないとみられる。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 工作機械などの機械需要は、半導体製造装置向け、自動車向けなどを中心に設備投資が見込まれており順調な見通し。制御機器や産業用ロボットなどのFA機器の需要も、省力化ニーズから底堅く推移する。ただ、製品不足から引き続き納期は長期化する見込み。 ● 切削用工具類などの消耗品の受注は、自動車関連の減産により弱含む見通し。



大型小売	肉食需要が続き食料品は堅調
<p>● 現況</p> 	<p>食料品は、長雨など天候不順による影響で夏物商材は売り上げが減少したものの、新型コロナに伴う肉食需要から総じて堅調だった。衣料品は、新型コロナの感染拡大などで客数が減少し、低調に推移した。雑貨は、化粧品など外出関連の需要が減少し、振るわなかった。今後も肉食需要は続き、食料品は堅調な見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 百貨店は、お歳暮などのギフト関連は堅調な推移が見込まれる。一方、衣料品は客数の減少に加え、外出着などの需要低迷が続くことが予想され、低調な見通し。 ● スーパーは、感染防止に伴う肉食需要から食料品は堅調な推移が見込まれるが、小麦粉や食用油などの原料価格上昇による価格転嫁の影響で、顧客獲得競争は激しくなる見通し。

自動車販売	納車遅れが続き、新車販売は低調
<p>● 現況</p> 	<p>半導体部品の不足などに伴う納車遅れにより、販売台数は前年を大きく下回った。ただ、消費者の購買意欲は落ち込んでおらず、受注は例年並みだった。今後も納車遅れは続くと思われる、新車販売は低調となる見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新車販売は、環境性能の高いハイブリッド車や車高が高く運転しやすいSUVを中心に需要は堅調ながら、半導体部品の不足などによる納車遅れが続き、低調な見込み。 ● 中古車販売は、新車の納車遅れに伴う下取り車の減少により、前年を下回る見通し。 ● 輸入車販売は、引き続き高価格帯の車種の需要が底堅いが、納車遅れもあり全体では低水準での推移が見込まれる。

公共工事	防災・減災工事を中心に高水準の工事量を見込む
<p>● 現況</p> 	<p>一昨年の台風19号に伴う災害復旧工事は落ち着いてきたものの、リニア中央新幹線に関連する橋梁やトンネル工事などにより、例年以上の工事量となった。今後の工事量は、前年水準は下回るものの、国土強靱化に伴う防災・減災工事を中心に、なお水準は高い見込み。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国では、三遠南信自動車道などの道路工事や、河川や山間部での防災・減災工事が下支えし、例年を上回る工事量が見込まれる。
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 県では、台風関連の災害復旧工事が落ち着いてきたものの、土地改良事業や土木工事などの発注が続くとみられ、底堅い工事量を見込む。 ● 市町村では、小規模な災害復旧工事が継続し、例年並みの工事量を維持する見通し。

民間工事	資材不足の影響もあり、建築需要を下押しする見通し
<p>● 現況</p> 	<p>民間企業の建設投資は、一部の製造業で工場の新増設などの動きがみられたが、総じて低調だった。新築住宅は、「すまい給付金」の申請要件の期限到来に伴う契約増もみられたが、ウッドショックの影響もあり着工には時間を要した。今後も、鉄骨やボルト、木材などの資材不足は続くともみられ、着工や工期の遅れが見込まれる。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 民間企業の建設投資は、製造業を中心に工場の新設などが実施されるとみられるものの、資材不足もあり全体の工事量は伸び悩む見通し。 ● 住宅関連は、ローコスト住宅を中心に一定の需要があるものの、ウッドショックによる木材の不足や価格高止まりに伴う着工や工期の遅れが見込まれ、低調な見通し。

貨物	自動車部品や業務用食料品などを中心に、貨物量は低調
<p>● 現況</p> 	<p>工業製品の貨物量は、自動車部品の荷動きが低調だった。食品や雑貨の荷動きは、家庭用は堅調ながら業務用が伸び悩んだ。今後も自動車部品や業務用食料品などの荷動きは改善が期待できず、貨物量は低調な見通し。燃料価格の上昇も収益を圧迫する見込み。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生産用機械の貨物量は、国内・海外向けとも底堅く、電子部品も半導体関連製品の荷動きが堅調な見込み。一方、自動車部品は半導体や一部部材の不足に伴う完成車メーカーの減産から、貨物量は低調な見通し。 ● 食品関連や雑貨・消耗品類の貨物量は、家庭用は安定した動きが見込まれるが、業務用は新型コロナの影響が続き、例年の水準を下回る荷動きとなる見通し。

観光	首都圏などの緊急事態宣言解除で観光客数は持ち直す見込み
<p>● 現況</p> 	<p>首都圏などでの4度目の緊急事態宣言に加え、県内での感染拡大や天候不順の影響により、観光客数は低調に推移した。今後は、県民限定割引や自治体独自の割引施策などの下支えに加え、首都圏などの緊急事態宣言解除により、自動車やツアーでの県外観光客数の増加が見込まれ、観光客数は持ち直す見込み。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 旅客は、行動制限の緩和に伴いワクチン接種済の観光客を中心に利用が見込まれるものの、旅行控えや公共交通機関の利用を避ける観光客も多く、増加は限定的とみられる。 ● 宿泊施設は、県民限定割引の人数制限解除に伴う利用客数の増加に加え、少人数や家族での旅行者を中心に県外の利用者数が持ち直す見込み。